

国際交流フェスタ「わいわい春まつり」開催

4月21日(日)鈴鹿ハンターにて、鈴鹿国際交流フェスタ「わいわい春まつり」を開催しました。未明の雨が嘘のような清々しいお天気の下で実施できたのは、みなさんの気持ちを通じたからだと思います。

今年で、12回目を迎えたわいわい春まつりには、約3,000名の方が足を運んでいただきました。民族衣装体験や、各国の音楽やダンスパフォーマンス、国際屋台、子どもの遊び体験コーナーなど5感をフルに使って異文化を身近に体験できる「場」となりました。

わいわい春まつりは、日本人と外国人がアイデアを出し合い協働する(一緒につくる)お祭りとして、月一度のペースで会議を重ねてきました。今回の実行委員には、日本人の他にブラジル人、ペルー人、中国人の方が加わり、以前にも増して多様で頼もしい委員会になりました。

今年も東日本大震災の被災地を応援するため会場で募金をお願いし、会場のお客様やスタッフのみなさんからご協力をいただきました。お預かりした義援金は、鈴鹿市の担当窓口から日本赤十字社を通して被災された方々にお届けしました。ありがとうございました。

また、わいわい春まつり開催にあたり、たくさんの企業様からご協賛いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

協賛企業の皆さま (あいうえお順、敬称略)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(有)飯田商事、(福)伊勢亀鈴会、AGF 鈴鹿(株)、(株)神戸ダイハツ、三恵工業(株)、(医)誠仁会塩川病院、(株)モビリティランド鈴鹿サーキット、鈴鹿ハングル会話教室、鈴鹿ハンター、(株)賃貸や、生川倉庫(株)、(株)フジコウ、(株)三重平安閣、ホンダカーズ三重北)、(有)ヤマモト、(株)ヨシザワ、好店(よしひろ)

後援:鈴鹿商工会議所、鈴鹿市

昨年に引き続き、今年もわいわい春まつりを盛り上げていただいたパフォーマーや、ブース出展の皆さんからご感想をいただきましたので紹介します。

屋外ステージ

[オープニングセレモニー]



理事長 平井 憲幸



鈴鹿市長 末松 則子 氏



在名古屋ペルー共和国総理事
グスタボ ペニャ チャモット氏

【パフォーマンショー】

＜フラダンス ラウレアフラクラブ＞

今回はじめて参加させて頂きました。あいにくの悪天候の中、プログラム一番目の早い時間にもかかわらず、たくさんの方々にお集まりいただけてとても嬉しく思っております。

日本のヒット曲「涙そうそう」をはじめイブというひょうたんでできた楽器を使ったフラや、ハワイアンミュージシャンがパリの街を唄った曲、タヒチアンなどさまざまなタイプのフラを披露させていただきました。少しでも皆様にアロハが伝わりましたでしょうか？

他のパフォーマーの皆さまもとても元気で素敵で、様々な国の方々が一同に集まり活気のある楽しいお祭りを私達も存分に楽しませていただきました。

天候による変更など関係者の皆さまは大変なご苦労があったことと思いますが、明るく対応して頂けて心から感謝しております。本当にありがとうございました。



＜カポエイラ カマラ＞

私達カポエイラ・カマラは、SIFA に対して、私達の鈴鹿市でこのような見事なイベントが催されたことに祝い申し上げます、そして、その一員になれたことに誇りを感じます。

フェスティバルはそれぞれの文化が交わり、私たちが自国から持って来たものをお見せできる素晴らしい機会であり、生徒達と共にブラジルの文化を紹介することは、私たちの喜びでもあります。本当にありがとうございました。

ショーの大部分の演目は、違う味わいになるように、よく吟味し選びました。

色々な屋台の食べ物、服、言語・・・それらが、全ての外国人をひとつにし、私達は私達の周りにある少し違う世界を味わえます。

私達はこの驚くほど楽しい機会に参加出来たことに対して、もう一度お礼申し上げます。

来年に向けて準備をし、より良い時間を作っていきます！



＜フィリピン音楽 ザ・サン＞

今回参加させて頂いて、今までで一番盛り上がったと思います。私達の前のフラの演目などがあって、お客さんも集まっていたのでその波に乗ってとてもノリノリで演奏できました！

バンドのオリジナル曲やタガログ語の曲にも関わらず、お客さんの反応もとてもよく音響もよかったので本当に楽しく気持ちよく参加できたと思います。

わいわい春まつりに参加していつも感じる事は、他の国の演目だけでなく食文化も楽しむ事ができ、また出演者同士のつながりも生まれとても満足感を味わう事が出来るということです。

これからも様々な文化との交流を深めながら、私達の音楽を通してフィリピンと日本の架け橋になることができればと思っています。



＜folklore ウルピ ターキ＞



4月21日は、いつもと違う日でした。朝早くから春の涼しさを感じ、日光がやさしく射していました。この日曜日は、あたり一面お祭りの飾りつけがされていました。そのため、わいわい春まつりに出られることで、私たちの心は熱意と喜びで満たされていました。

たくさんの笑顔と、朝早くから働いているボランティアさんたちを見て、わいわい春まつりに参加できるのだという私たちの気持ちは、一気に高まりました。ウルピタ

キの心は、メンバーのパパが帰国して
いて悲しいときがありました。しかし、そ
の時私たちが出来る最高のパフォー
マンスをめざし、全力で取り組みました。

参加し協力してくれた皆様は、本当
に素晴らしかったです。全部しっかりと
準備されており、とても驚きました。なぜ
なら、私たちのパフォーマンスを前で見て
いる人がそれほど多くなくても、公園
の方からも私たちの音楽を聴いていた人がいたからです。

たくさんの喜びがありました。あの場にいた市民の皆さんは、ステージや食べ物等にとっても満足されていたと思います。

この日のため、準備をして下さった皆さんありがとうございました。これからもわいわい春まつりを続けてください。神のご
加護がありますように。



＜コリアン民族舞踊 シアリ＞



すがすがしい晴天の中行われた、わいわい春まつり2013。

今年もたくさんのお客様にコリアン舞踊を通してコリアン民族を知ってもらい、とても嬉しく思います。また日頃四日市の方での出演が多い為、メンバーの地元！！鈴鹿！！でコリアン舞踊を披露できた事、嬉しく思います。

当日は、舞台そでで準備中から沢山の方から話しかけられたり、写真を撮っていただいたりして緊張もほぐれ舞台に立つことが出来ました。

少し残念だった事は、公演時間が遅れていて舞台そで準備から出演まで30分ほどあった為、話しかけてくださったり写真を撮ってくださった時ほど舞台出演時にはお客様がいなかったのが残念でした。

鈴鹿でこのような催しがあれば、また是非出てみたいです。



＜和太鼓 大木神社太鼓連＞

鈴鹿国際交流協会の方々のおかげで、わいわい春まつりに出演させて頂きました東海道石薬師大木神社太鼓連です。

まず、わいわい春まつりが晴天で大成功された事、ほんとにおめでとうございます。

太鼓出演、実はいつも主となる連員が来れず、又出演時間が早まり、充分な打ち合わせが出来ないままでの演奏となりました。色々もたついた所がありました。ですがスタッフの方々の心暖まる配慮のおかげで、太



鼓連一同出来る限り目一杯太鼓を打ち抜く事が出来ました。今回の出演で、各々が反省や目標を持つ事が出来、達成感を感じるという大切さを学ばせて頂きました。スタッフの皆様、太鼓を見て交流して下さったお客様、心から感謝しています。

今後も今回の経験をバネに、連のモットーである「みんなで楽しく」を生かして努力していきます。(年中、歳を問わずに連員募集しています。興味のある方、是非遠慮せず大木神社に問い合わせ下さい。)

心に残る出演をさせて頂けた事、心から有り難うございました。

＜ラテン音楽 ザ ラチン フレンドイス＞



<ベリーダンス エルプエルト>



4 月からエル・プエルトという名前で再出発してから、初めてのイベントの出演となりました。

通常のクラスとは別に、2 度のリハーサルを行い当日に備えました。参加するみなさんにも、スケジュールを無理言って合わせていただいたり、感謝感謝です。

さて、本番。会場にはたくさんの人が集まり、当日心配していた天気にも恵まれ、また色々な国籍の人がいたので、その名の通り、わいわいとしたお祭りでした。

ステージでは、ベリーダンスの人たちは風が冷たかったせいもあり少々寒かったですが、がんばって踊りきりました。フラメンコも、ステージ

の上では回ったりするのにカーペットだと踊りにくいようでした。最後に Zumba では、会場一体となって、最初は恥ずかしかったのか、参加を戸惑っていた人たちも次第に参加してくれて、最後にはとても盛り上がったと思います。

また、この機会と経験をバネに、次のステップアップ

につなげていきたいですね。

<フラメンコ エルプエルト>



<ゴスペル マイア ゴスペル クワイヤ>

初めての参加で一体どうなってしまうのか、ハラハラドキドキしながら当日を迎えました。

前日の雨も上がり、かなり寒い1日でしたが、多くの方々が足を止めて私たちの歌を聴いていただいている事、今までに無かった多くの外国の方々に聴いていただけた事がとても嬉しく、幸せな気分になりました。

少し緊張しつつ、りのいいお客さまに助けて頂きながら楽しくイベントを終えることが出来ました。

このような機会を与えて下さいました SIFA スタッフの皆様、実行委員会の皆様、多くのボランティアの皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

来年も是非歌わせていただけたら嬉しいです。



<マロンダンス U.F.P.A.>



わいわい春まつりに、U.F.P.A.そして、鈴鹿亀山フィリピンコミュニティ代表として参加するようになって3年になります。

過去2年間、私達は、ことあるごとに、一般的なフィリピン人の素早い動きを伝えるために、ティニクリング(バンブーダンス)を披露してきました。また、フィリピンの北部のルソン島から始まったティニクリングは、隣人との関係調和の重要な部分です。

今年、私達は、フィリピン南部から始まったカッパマロンマロンを披露しました。

私達は、フィリピン諸島が他の国々から受け継いだ多くの文化的な遺産を、日本のコミュニティや他の国々に伝えるために、このダンスを選びました。

これが、大方のフィリピン人が、わいわい春まつりのような国際交流イベントや活動に興味を持ち、様々な文化に困難なく適応できる理由です。

日本に住むフィリピン人として、お祭りの成功を祝福致します。
MABUHAY!!!バンサイ!!!

<ブラジルサンバ すずとも>

地域の子供たちがたくさん参加してくれて大変よかった。

わいわい春まつりを鈴鹿市の中心的な行事にして、市民みんながいろんな形で参加できるようになったらいいですね。



センターコート

<ホンダ ダンボール クラフト>

開催当日は、朝から快晴でメイン会場には数多くの人々が訪れ大変にぎやかでした。私達の会場は屋内でもあり、イベントスタート時は人出も少なかったですが、時間が経過するに従い人も増え、多い時には待ち状態にもなりました。訪れた人の中には「無料ですか？」という問い合わせもあり、数多くの人に参加をしていただきました。

数多くの方に参加をしていただきありがとうございました。



<わいわい色あそび体験>

アトリエ・いろのはブースでは、通年通りパステル画材を中心にしたお絵描きワークショップを展開。今年は“グローバル ART メッセージカードを描こう”というテーマで行いました。

「パパ・ママ、ありがとう」、「日本がんばれ」、「〇〇ちゃんへ、大好き」…。

などなど、グローバルなメッセージカードがたくさん出来ました。

その場で家族や友達にプレゼントしている姿も見られて、私達も温かな気持ちになりました。

今年で3回目の参加でしたが、SIFAのわいわい春まつりは国際色豊かな人、食、文化に出会うことが出来、いつもパワーももらっています。



<インターナショナルサロン>

留学生たちが、訪問者に対して、母国の話をしたり、文字を教えたりしました。今回は、ミャンマー、中国、フィリピン、韓国、内モンゴルなど複数の国から、十数名の留学生が参加しました。日本に来たばかりの人や、約3週間前に来日した留学生もいましたが、中には、このような日本社会と交流にはできるだけ参加したいという留学生もいました。

今回、会場に来られた訪問者は、①中国語②フィリピン語③内モンゴル語④ミャンマー語⑤韓国語などの言葉で会話やその言葉などを楽しんでいました。

大学を応援してくれる多くの方々が、その会場を訪れました。その中のお一人は、衆議院議員の中川正春先生です。中川先生が、留学生たちに声をかけながら、「卒業はいつですか?頑張ってください」などと声をかけ、留学生たちを励ましてくれました。鈴鹿市の副市長も会場を訪れ、留学生達と一緒に記念写真も撮りました! 大学では、勉強はまじめにしている留学生が多いですが、学外でこのような交流の機会があるからこそ、社会の様々な立場な方々とも交流でき、一生の思い出になるのですね。

そして、留学生たちは、FM 鈴鹿ラジオ番組の取材を受けました。取材を受けたのは、内モンゴルのチュアンさんです！ちょっと緊張したのかなあ。いやいや、そんな風に感じません。よく慣れていますね。いろいろなところで踊って、歌って、話をし、人前に出るのはとても上手なチュアンさん!! 今回も、とても素晴らしい出会いがありました!

会場を訪れた方々からやさしく声をかけられ、留学生たちもとても喜んでいました。

このような機会を提供してくれました鈴鹿国際交流協会をはじめ、地域の皆様に感謝いたします。

日本にあこがれ、この鈴鹿までやってきた、いろいろな国からの留学生!

これからも応援よろしくお願いします!!



<防災コーナー>



サブコート

<民族衣装コーナー>

今年も昨年同様に民族衣装の無料着付けをしました。昨年同様にスムーズに準備を終えることができました。受付の通訳も困ることなくやっていただけました。随分軌道に乗ってきているなと感じました。

当日は、着付けのボランティアを急遽お願いすることになった岡田さんありがとうございました。何が何かわからないまま、すぐに着付けに入っていただき感謝しています。

小林豊子さんの着付けスタッフも午後に入ってもらっていたので助かりました。

ベルフォンテンの学生も協力的でした。

準備、後片付けばっちりでした。着付けが昨年よりも少なかったのですが、来年も今年同様にやっていきたいと思います。

みなさん、本当にお疲れ様でした。



<似顔絵コーナー>

昨年に引き続き民族衣装コーナーの横におじゃまさせてもらい色鮮やかな民族衣装を着た子供たちを描かせていただきました～。

国際交流の祭りだけあって、毎年様々な国籍の方を描くことができ、また似顔絵を通じて他国の方と異文化交流できる事をうれしく思います。

昨年も来ていただいたお客様が今回も描きにきていただいたり、外国の方を描きながら言葉や文化を教えてもらったり、私自身も楽しみながら描くことができ、有意義な一日となりました。



【国際交流活動団体のパネル展示】

<鈴とも>

鈴鹿ハンターサブコートにて、『鈴とも』の活動内容（市内で多文化共活動に取り組む団体）が書かれたパネルを展示し、わいわい春祭りに参加された色々な国籍の皆さんや、お買い物にいられたお客様に、PRさせていただきました。

今回は、みなさんに少しでも楽しんでいただこうということで、バルーンアートをさせていただきました。

こうしたPR活動を通じて、「子どもたちと一緒に参加できる国際交流の活動があれば教えてください」や、「みなさんの仲間に入れてください」等の言葉をいただきました。

わいわい春祭りに参加させていただき、『鈴とも』の輪が広がり大変良かったです。また来年も参加させていただければと思います。



<（公益財団法人）国際交通安全学会 IATSS フォーラム>

IATSS フォーラムは、昨年同様ブースにて写真パネルや東南アジア民芸品の展示を行いました。

普段なかなか国際交流に接点がない方にも、私たちのことを気軽に知っていただき、新たなつながりを生むため、写真パネルでは来日から各プログラムの流れをご覧いただき、昨年の研修風景の動画も併せて、より理解を深めていただけたかと思います。子どもたちは東南アジアについてのクイズに楽しんで参加してくれました。今後も、地域のみなさまに、IATSS フォーラムをより身近に感じていただき、活動に参加していただけるよう努力していきたいと思っています。



展示のようす

東南アジアについてどれくらい知っているかな？



<鈴鹿高等学校ボランティア部>



今年も出展させていただき感謝します。自分たちの展示に関しての反省点としては、展示内容に関心をもってもらえるような働きかけが足りなかったと思っています。中には熱心に見てくださった方もいましたが、活動に興味を抱かせる働きかけが課題となりました。展示内容も報告に終始するのではなく、子ども向けのオブジェなどあればよかったのかもしれないし、子ども支援が伝

わる方策や生徒を活用した展示を考える必要を感じました。

イベント全体への感想は、大成功といえると思います。天候が昨年より良かったせいか活発でにぎやかに感じました。屋外ステージが盛り上がった分館内が静かだったように感じましたが、展示等が館内にちらばる会場ではやむをえないことだと考えます。

サンバのフィナーレでは生徒も輪の中に入れてもらい、みんなで盛り上げた一体感を感じたことでしょう。いろいろお手数おかけしましたが良い経験をさせていただいたと感謝しています。



<JICA>



シニア海外ボランティアOBと来場者

JICAブースでは、鈴鹿市在住のシニア海外ボランティアOBの方にも手伝ってもらい、「JICAボランティア 25 年度春募集」の案内と、三重県出身の青年海外協力隊の活動写真展示、ボランティアに興味をお持ちの方の応募相談を受け付けました。

JICAボランティアというと青年海外協力隊の方が有名で、応募者も多いです



ブース展示写真や、資料を見る来場者

が、ここでは40歳から69歳の方が参加できるシニア海外ボランティアへの参加に興味がある方が多く、シニア関連の資料がどんどんなくなっていました。また、シニア海外ボランティア参加を考えている方にとっては、参加経験のあるOBの話は大いに参考になったようで、長時間話し込まれる場面が多々ありました。

来年度もさらにブースを充実させて出展させていただきたく、楽しみにしております！

<愛伝舎>



とくにブラジル人を中心に地域外国人の人口が減少傾向にあります。一方で定住化、永住化を希望する外国人も多く、第2世代、第3世代と呼ばれる若い外国人の人達が地域社会に溶け込み活躍する姿が多く見られるようになってきました。人口減少、少子高齢化の時代を迎え、地域の外国人の存在を社会の活力として活かしていく事ができればと思って活動している様子を展示させて頂きました。

今回はとくにMIEBRASプロジェクトという企業との協働の様子を展示し、愛伝舎の新しい一歩について見て頂ける場となりました。たくさんの方に足を止めて展示を見て頂き、私たちの日頃の活動をご紹介できた事は大変ありがたく感謝しております。

また三重県内の多文化共生にかかわる多くの団体が一堂に会し、交流を深める場として今後もこのような機会を頂ければ幸いです。

屋外コート・弁天山公園

<日本の昔の遊び>



鈴鹿ハンターに会場を移してから、毎年子供の遊びコーナーを担当しています。今年は竹馬、竹ポッコリ、紙てっぽうの他ビー玉、コマまわし、お手玉、すごろく、それにアメリカ人青年グループのコーンホールというゲームを加えて、各コーナーを回って遊びを体験するスタンプラリー方式を採用しました。

手づくりゲームということから、たくさんの子供たちが参加してくれましたが、上手く遊べない子供たちへの適切な指導の方法を私達が工夫しないといけないという反省点から、来年に向けて指導者の確保が課題になりました。また、コーンホールというコーナーではアメリカ人青年との交流も

深まり楽しい一日を過ごすことが出来ました。

竹製の遊び道具は、毎年最後に差し上げていますが今年も引っ張りだこで、あっという間になくなりました。



<アメリカコーナー>



鈴鹿市のALTメンバー全員が今年の天気は素晴らしかったという意見で一致しました。

私は、朝まだ曇っていた時、少し心配しましたが、すぐに晴天になりました。こんなにも素晴らしい天気だったので、たくさんの人たちが来てくれたのだと思います。

今年私たちは初めてスタンプラリーに参加しました。スタンプラリーは良いアイデアだと思いました。人数は覚えていないけれども、とてもたくさんのお子さん達がコーンホールを体験しに来てくれて、私たちは何度もスタンプを押しました。

子ども達にとっても、スタンプを集めて賞品をもらうのは楽しいことですね。

過去数年、私たちは一度にふたつのことをやりました。初めの2年はフットボール体験ゲームとイースターエッグ作りです。イースターエッグはとても手間がかかり、とても散らかり、またとてもたくさんの卵を無駄にしました。(作ったものは、食べられませんから)

去年はコーンホールと塗り絵をしましたが、私達のコーナーへ来るお客様は少なかったです。私達は今年は塗り絵のような簡単なコーナーをやったかったのですが、私が思うに、何かひとつだけやる方が、私達自身もフェスティバルをもっと楽しめると思います。



私たち全員、春まつりでとても良い時間が持てました。とてもたくさんの食べ物も楽しめました。子ども達と一緒に遊んで楽しめました。私個人は国へ帰国するので、来年は参加出来ませんが、SIFA が来年も鈴鹿市の ALT 達に参加を求めてくれるよう希望します。

<キッズ自転車トライアルデモンストレーション>

昨年大荒れの天気で中止だったイベント……。今年も天気予報が怪しくまさかの2年連続中止??

雨予報は午前中の9:00くらいまででした。デモ走行をおこなう時間には晴れ間が広がり快晴でした。

トライアルは、本来オートバイを使って行われるモータースポーツ競技で、「セクション」と呼ばれる障害物を、いかに足をつかずに走破出来るかが競われます。それをそのまま自転車で行うのが自転車トライアルです。本格的なトライアル選手の予備軍として多くの子どもたちが、高度なバランス感覚と集中力の必要なこの競技に取り組んでいます。

株式会社ミタニ(道伯町)はトライアル専門店として、また全日本チャンピオンを輩出した名門チーム「TEAM MITANI」の母体としてトライアル競技の普及と振興に取り組んでいます。その一環として子どもたちによる自転車トライアルチーム「KIDS DREAM RACING TEAM」を主宰しており、そのメンバーの小学生らが今回のデモンストレーションの主役となり2回のステージをこなしました。

NPO 法人鈴鹿モータースポーツ友の会(理事長:川岸光男)&株式会社ミタニは、モータースポーツを通じての安心・安全なまちづくりを目指しており、自転車トライアルに必要なバランス感覚と操縦技術を市民に知っていただくことは、アトラクションとしての魅力もさることながら、広い意味での交通安全推進にも役立つと判断、今回のデモンストレーションを企画しました。子どもたちに自転車で簡単なセクションにチャレンジしていただき、運転技術を学んでいただく趣向も取り入れた素晴らしい企画のイベントとなりました。



<フリーマーケット>



国際屋台村

<モロッコ 民芸品>

たくさんの方々とモロッコやアフリカのお話ができてとても良かったです。

時代の流れか、以前は遠い国でしかなかったモロッコの事をご存じの方が少しずつ増え、いろんな情報交換の場となりました。商品も直接見ていただき、現地の人たちの様子なども織り交ぜながら紹介することができた、よい機会となりました。またボランティアの中学生や高校生の方々とお話することができ、子ども達にとってもとても有意義な一日でした。

このようなイベントを通して、様々な国の人々や文化と触れ合うことで、視野がひろがり、お互いを理解しあうことができます。本当にありがとうございました。



<ペルー民芸品>



毎年楽しみにしているわいわい春祭り、直前まで天気に気をもみましたが、降らなくて良かったです。声をかけてくれるお客さんも多く、とても楽しくできました。お店で参加している人たちとの一年ぶりの交流も楽しかったです。屋外で太鼓もたたけるといことで、やっぱり、春祭りは衣装にもちょっと気合いが入ります。また来年も参加したいです。SIFA のみなさん、ありがとうございました!そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします!

<ブラジル小物>



今年もわいわい春まつりに参加させてもらい、楽しかったです。私の創作を紹介でき、皆さん良い言葉を頂きました。お蔭様で売り上げも満足でした。また、今後もよろしくお願い致します。



<AGF>



<フェアトレード>



<世界の野菜>



東日本大震災復興義援金



合計 38,020 円の義援金が集まり、
実行委員長の島村より、鈴鹿市役
所・保健福祉部の窓口を通して、日
本赤十字社へお届けしました。
ご協力いただきましたみなさまに
感謝申し上げます。



反省会・交流会



みなさん、ありがとうございました。
そして、ハンターさん、ありがとうございました。
また来年4月20日(日)にお逢いしましょう！